



明けましておめでとうございます。
今年も患者さまの「食べる」ことへの楽しみを、皆で援助していきます。

NST活動の紹介:南館6階 回復期リハビリ病棟

急性期病棟から、回復期リハビリ病棟に転入される患者さんのなかには、食事摂取量が不十分で脱水傾向になっていることがあります。そのため、転入時に、多職種で初期評価表を用いて、「栄養」「ADL」「身体状況」について評価をしています。

回復期リハビリ病棟での栄養スクリーニングは、低栄養になった時だけではなく、積極的なリハビリ介入に向けて、栄養が過不足なく提供できているかを評価します。転入時の栄養リスクアセスメントは、とても重要です。栄養スクリーニングシートは、入院時のみアセスメントしていましたが、栄養科と協力し、栄養スクリーニングシートをリハビリ病棟への転入時にも評価できるようにしました。転入1週間後または状態変化時にも再評価するようにしています。

また、患者さんの中には、筋肉量をUPさせる目的でリハタイムゼリー(BCAA、ビタミンDが含まれた、運動後の補給用ゼリー)を、リハビリ後に飲用している方がいます。セラピスト・管理栄養士・リーダー看護師にて飲み忘れがないようにチームで関わっています。栄養状態を把握するうえで、体重の変動も重要なため、週に1回(木曜日)は体重測定日を設けて測定しています。また、生活リハビリとして日中、離床を促している患者さんも多数いますので、車椅子のシーティング等もセラピストと協力して行っています。



さらに、多職種での患者カンファレンスでは、管理栄養士も参加し、低栄養の改善や活動量に応じた栄養量の提案など意見交換をしています。



今年、NST専門療法士に合格しました。看護師だからできる「栄養管理」を考えてきたいと思います。南6階看護師 濱本 えりな

お知らせ

第8回 院内NST研修会

1月9日(水) 17:30~18:30 南館1階MGHホール

第22回 岐阜南NST研究会

1月24日(木) 18:00~20:00 南館1階MGHホール

【テーマ『静脈・経管栄養

~その正しい適応と管理方法について~】大阪大学国際医工情報センター 特任教授 井上 善文先生

どの職種でも参加可能です。栄養に興味のある方ならどなたでもご参加下さい!

